

すべての有機性廃棄物を分別せずに処理す

選ばれる理由があります。

■ 低含水率から高含水率(90%)まで処理が可能

有機性廃棄物であれば全て分別しないで処理ができます。操作・管理が簡単なので、**人件費を大幅に削減**することができます。ただし、高含水率廃棄物処理の効率を良くするためには水分調整を行う必要があります。

■ 選べる当社独自の特殊な脱臭装置(特許申請済)

パグマII・パグマIIIの脱臭装置は、2つのタイプから選べ、**嫌な臭いを最大限にカット**します。そのため、市街地から郊外まで幅広くお使いいただけます。

■ 電力や燃料を使わずに処理が可能

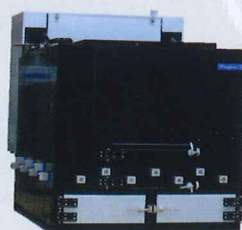
化石燃料は不使用のため、**光熱費を大幅に削減**します。重油等の燃料を使用しないで最大 $\frac{1}{200}$ 程度にまで処理物を減容することができます。ただし、付属品には電力が必要となります。ヒーター仕様機では追加オプション設置にて発電・給湯も可能ですので、自機電力が利用できます。

■ 環境に優しい処理方法

廃棄物を処理する時に酸素の供給量を抑えることにより燃焼させません。**熱分解(70℃~300℃)**で処理させるため**ダイオキシン類の発生を抑制**します。

■ サイズから選べる9タイプ

お使いになる用途や場所によって、大・中・小型そして追加オプションによって**9通り**の中からご自由にお選びいただけます。



型番	本体サイズ (mm)	層内容積 (m³)	概算重量 (Kg)
1	W1,000×D1,000×H1,470	1,5	600
2	W1,320×D1,320×H1,710	3,0	1,100
3	W1,700×D1,700×H1,910	4,5	2,200

高含水率有機性廃棄物はパグマIIだけ

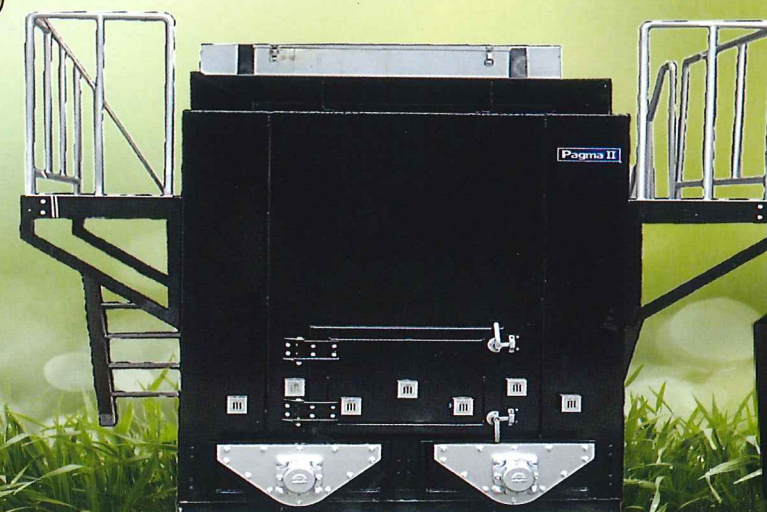
国内安全
基準値クリア

化石燃料不要

臭いの発生
最大限にカット

ランニングコスト
大幅カット

排熱再利用



パグマII標準型

- 蒸気が出るタイプの熱分解装置です。わずかなランニングコストで、強烈な臭いや煙を特殊構造のサイクロン式水槽(特許出願済み)でほとんど除去します。
- 水槽部分にブローアを使うため、1日12~13円の電気料金と水道料金(地域によって料金は異なります。)が必要です。
- このタイプは、主に郊外で使用する事業者様にお勧めの機種となります。

パグマII標準型とパグマIIIヒーター型は、お客様のご使用環境によってお選びいただくことをお勧めいたします。

パグマIIIヒーター型

- 蒸気が出ないタイプの熱分解装置です。蒸気、強烈な臭いや煙を特殊構造のヒーター(特許出願済み)が100%除去します。ヒーターを使うため、1ヶ月3~5万円の電気料金(処理物によって料金は異なります。)が必要です。
- ヒーター使用時の熱風を利用して発電や給湯をする事が可能です。自機の電力源としてもお使いいただけます。そのため、他の発電器や他の給湯器との比較においても十分なコストカットが見込まれます。
- このタイプは、主に市街地、住宅密集地で使用する事業者様にお勧めの機種となります。

環境適合性

※プロトタイプで混合廃棄物処理時測定値

項目	基準値	分析結果(※)	単位
排ガス中のダイオキシン類実測濃度	5以下	1.9	ng-TEG/Nm³
処理最終物中のダイオキシン類濃度	3以下	0.0095	ng-TEG/g
一酸化炭素濃度 (O ₂ =12%換算)	100以下	18	ppm
酸素濃度		20.2	%
ばいじん濃度	0.15以下	<0.009	g/Nm³
硫酸化物濃度 (O ₂ =12%換算)		<2	ppm
硫酸化物排出量		<0.001	Nm³/h
塩化水素濃度 (O ₂ =12%換算)	430以下	<5	ppm
窒素氧化物濃度 (O ₂ =12%換算)	250以下	<45	ppm

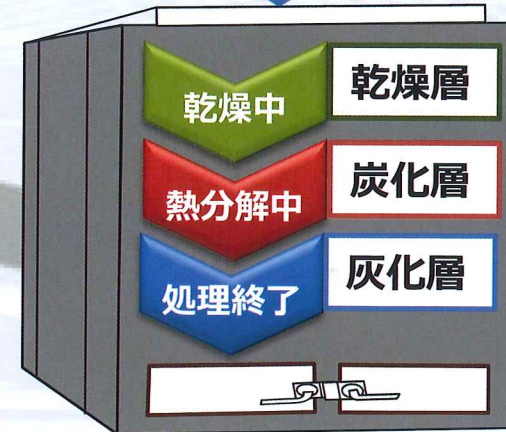
棄物を分別せずに処理する

パグマII

高含水率有機性廃棄物はパグマIIだけ



使用方法は簡単



処理済灰の処分は

農業畜産廃棄物の灰は、窒素・リン酸・カリウム・カルシウム等が含まれている為、農作業の肥料として使用できます。

プラスチックや汚泥の灰は、最終処分場扱いとなりますが、大幅に減容されますので処理コストが大幅に低減されます。

設置方法は確実に

平置き式	装置一式の重量と、稼働時に投入する最大重量との合計重量に耐えうるコンクリート基礎の上に設置
ピット式	原料の投入を容易にするピットを設けるためのコンクリート基礎工事を行い設置 (3型の場合→4m×4m×2m程度)

■本装置設置について

パグマII・IIIを設置する場所の基礎工事完了後、必ず、施工部の強度を確認し本装置を設置した後、本製品設置に必要な工事(電気配線、給排水配管、建屋関係等)を施工し、再度、安全確認をした後、試運転を行います。

※平置き・ピット用基礎工事、接近防止用ガード、その他の付帯工事等については、別途お見積りいたします。

投入方法は守って

バッチ式	重機のバケット等を使用し、最大処理量ラインまで断続投入
連続式	ベルトコンベア等を設置し、最大処理量ラインまで連続投入

■本装置運転開始について

初めてパグマII・IIIをご使用になられるお客様に、製品を効率的そして正しくお使いいただくための製品使用・操作に関するマニュアル研修を製造元が行います。

※研修期間及び費用については、別途お見積りいたします。

パグマII 標準型

- 蒸気が出るタイプの熱分解装置です。わずかなランニングコストで、強烈な臭いや煙を特殊構造のサイクロン式水槽(特許出願済み)でほとんど除去します。
- 水槽部分にブローアを使うため、1日12~13円の電気料金と水道料金(地域によって料金は異なります。)が必要です。
- このタイプは、主に郊外で使用する事業者様にお勧めの機種となります。

パグマII 標準型とパグマIIIヒーター型は、お客様のご使用環境によってお選びいただくことをお勧めいたします。

パグマIIIヒーター型

- 蒸気が出ないタイプの熱分解装置です。蒸気、強烈な臭いや煙を特殊構造のヒーター(特許出願済み)が100%除去します。ヒーターを使うため、1ヶ月3~5万円の電気料金(処理物によって料金は異なります。)が必要です。
- ヒーター使用時の熱風を利用して発電や給湯をする事が可能です。自機の電力源としてもお使いいただけます。そのため、他の発電機や他の給湯器との比較においても十分なコストカットが見込まれます。
- このタイプは、主に市街地、住宅密集地で使用する事業者様にお勧めの機種となります。

経費削減熱分解装置

～全国に先駆け完成発売～

パグマⅡ・Ⅲのご案内

有機性廃棄物を焼却せずに熱で分解させて処理物を減容させる装置です。

従来の大規模な焼却施設に比べ小型化なので初期投資の軽減になります。

パグマⅡ・Ⅲは、特別な設置許可を必要とせず、化石燃料を一切使う事無く、有機性廃棄物の熱分解処理をする装置です。

(※引火性・爆発性廃棄物の処理は出来ません。)

熱分解装置は廃棄物投入と灰の排出作業のみ(1～2ヶ月毎のメンテナンスは必須)というシンプルな使用方法でありながら、今まで普及されなかった最大の要因は、処理物を焼却する事無く、70度～300度の低温で分解を行いますので、排気や蒸気の排出からの異臭の発生は否めませんでした。そのため、近隣住民の苦情等によって運転の中止を余儀なくされていました。

この度、完成しました当社の熱分解装置パグマⅡ・パグマⅢは、地球資源の枯渇化による燃料の高騰からなる経費負担及び焼却施設から発生されるダイオキシン等有害物質の対策として開発された製品です。当社オリジナルの保温層特殊構造の水槽(特許出願済み)と当社オリジナルのヒーター(特許出願済み)を設けることにより、今まで不可能だった臭いの対策を万全にしました。また、特許出願済みであります当社独自開発の3層構造からなる特殊処理槽によって、今まで不可能だった全ての高含水率廃棄物の処理が可能となりました。

高含水率有機性廃棄物の処理が出来る

熱分解装置はパグマⅡだけです。

当社のパグマⅡ・Ⅲは、廃棄物処理料金の負担増大でお困りの幅広い事業者様にお使いいただける製品です。



省エネルギー型有機性廃棄物処理装置

パグマⅡ

PagmaⅡ®

当社では、お客様が処理をなさる廃棄物で実際に分解処理を行い商品を体感していただいております。

ご希望の方は、事前に会社名・担当者名をお知らせください。

特許部分が多い製品の不法製造防止のためであり、当社ではお客様からお預かりした個人情報を他目的で使用する事はございませんので、ご安心ください。

■お問合せ先

製造発売元 **株式会社 丸山製作所**



販売協力店

TEL: 0282-92-8865 FAX : 0282-92-8863
Email: info@jec.ks-co.jp